

●発行／豊岡市
 ☎0796612311
 市長室 FAX 2411004
 ●編集／政策調整部秘書広報課
 FAX 2412575

〒6681866
 兵庫県豊岡市中央町2番4号
 URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
 ・竹野 ☎4711111
 ・出石 ☎5231111
 ・城崎 ☎54423210001
 ・日高 ☎54423210001
 ・但東 ☎54423210001

お出かけください 文化施設巡り 18

このコーナーでは、豊岡市立の文化施設を巡り、紹介します。(最終回)

現存する近畿最古の芝居小屋 出石永楽館



- 所在地 豊岡市出石町柳17-2
- 開館時間 9:30~17:00
- 休館日 第2・第4木曜日、年末年始(12月31日・1月1日)
- 入館料 大人300円、学生200円、中学生以下無料



▲当館職員の赤浦 毅がご案内します。

出石永楽館は、明治34年に兵庫県知事から常設劇場新設の許可を得て、本格的芝居小屋として出石城下町に開業しました。永楽館の名は出石城主仙石氏の家紋「永楽通宝」から付けたと言われています。

明治、大正、昭和時代と、但馬地域の近代的娯楽文化施設として輝かしい功績を残しましたが、昭和39年にテレビの普及とともに閉館となりました。

明治時代の歌舞伎小屋の様式をよく伝える芝居小屋として平成10年に市の有形文化財に指定を行い、所有者から建物の寄贈を受けました。

平成18年に市が、老朽化した施設の保存修理と、その活用のため復原工事に着手し、平成20年6月に創建当時の姿へと忠実に復原しました。



▲花道

建築当初は幅3尺でしたが、後年、横に板を張り広げられました。途中にスポンと呼ばれる小セリを復原しました。



▲舞台と客席

座席数は350席（1階220席、2階130席）。どの席でも役者を近く感じます。



▲昨年の「永楽館柿落大歌舞伎」公演

平成20年8月には、復原記念として、片岡愛之助丈を座頭にした「永楽館柿落大歌舞伎」公演を興行しました。出石永楽館の復興を願われた方々や歌舞伎を愛する全国からのお客様を迎え、大盛況のうちに5日間の公演日程を終えました。

今年8月には、復原1周年を記念して「永楽館大歌舞伎」公演を開催します。

出石永楽館は今後も先人から受け継いだ遺産として、また市民の文化活動の拠点として後世に受け継がれることでしょう。



▲花道下通路

廻り舞台下から花道の下を通り、鳥屋(花道の奥にある小部屋)へ連絡する通路です。



▲廻り舞台機構

床を支える横材には、水車の軸棒を転用し、建物の基礎石、石積、茶落の様子も100年前の姿のままです。

【表紙写真】 5月31日、「コウノトリに出逢える歴史の道ウォーキング」が開催され、参加者は、ハチゴロウの戸島湿地(城崎町戸島)を起点に、県立コウノトリの郷公園(祥雲寺)を目指しました。途中、玄武洞に立ち寄った参加者は、案内スタッフから玄武洞の歴史を聞き、自然が生み出した柱状節理の美しさに感嘆していました。